

帯広畜産大学 基金報告

第14号
(令和5年度)



国立大学法人北海道国立大学機構

帯広畜産大学

目 次

学長挨拶	1
帯広畜産大学基金受入状況	2
令和5年度収支決算	3

学生修学支援事業基金

令和5年度大学基金奨学生との懇談会を開催	4
基金奨学生からの感謝の言葉	5

大学運営支援事業基金

ちくだいらんぷ事業（学生による社会貢献事業）	15
------------------------------	----

その他

ちくだいホームカミングデー 2023を開催	18
寄附者ご芳名	19
感謝状の贈呈	21
帯広畜産大学大学基金運営委員会委員名簿	24
帯広畜産大学基金関連規程	25

学長挨拶

日頃より皆さまには、本学の教育研究活動に対するご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。また、帯広畜産大学基金事業に対して、多大なるご支援をいただき、重ねて厚くお礼申し上げます。ここに、令和5年度の帯広畜産大学基金事業が無事に実施できましたことをご報告いたします。

近年は、同窓生の皆さま、保護者の皆さま、企業等の皆さまなど、多くの方々に賛助会員にご加入いただき、安定した財政基盤を築くことができいております。基金事業が末永く実施できますよう、趣旨にご賛同いただき、今後とも、帯広畜産大学基金への継続的なご支援にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご支援いただきました寄附金は、経済的に困窮している成績優秀な学生への奨学金給付、授業料・入学金免除等の学生修学支援事業や、地域における社会貢献活動への助成等を行う大学運営支援事業、老朽化した施設の改修等を行う就学環境の整備事業の実施に際して、大切に使用させていただいております。

今春も、畜産学部共同獣医学課程、畜産科学課程、大学院畜産学研究科、別科酪農専修に358名の学生が入学しました。総勢1,379名の学生が、畜大キャンパスに集い、「食を支え、くらしを守る人材」として、地域および国際社会に貢献すべく、農学、畜産科学、獣医学を学んでいます。

現在、気候変動、エネルギー問題、少子高齢化、多発する自然災害など、多くの課題があります。特に、18歳人口の減少は、大学にとって影響の多い課題ですので、教育の質を高め、就学環境を整備し、魅力ある大学づくりに努める所存です。

つきましては、引き続き皆さまからのご支援を賜りたく、重ねてご協力をお願い申し上げます。

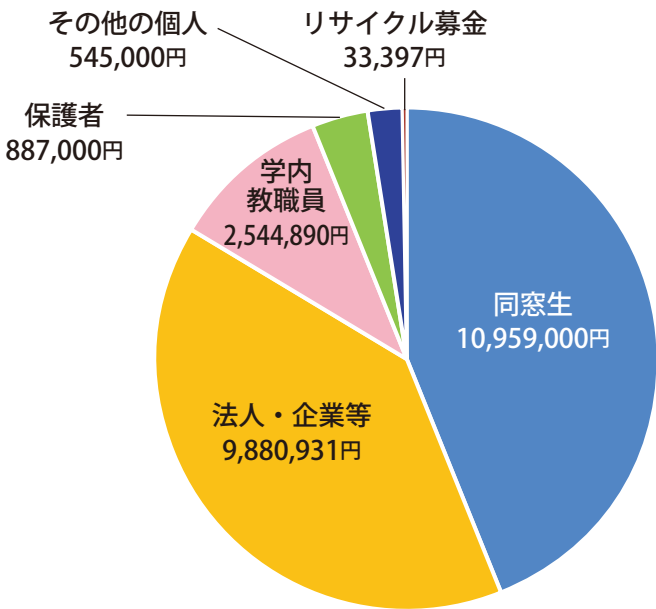


国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学長 長 澤 秀 行

帯広畜産大学基金受入状況

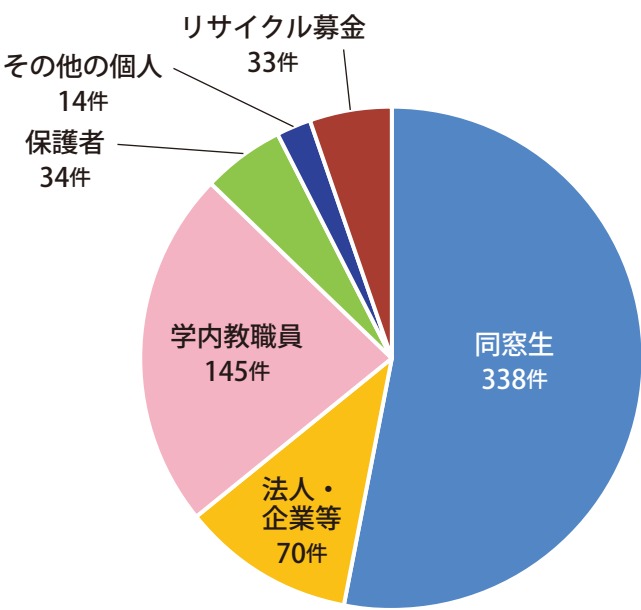
令和6年3月31日現在

令和5年度寄附金額



	令和4年度	令和5年度
同窓生	6,507,890円	10,959,000円
法人・企業等	7,282,382円	9,880,931円
学内教職員	2,153,500円	2,544,890円
保護者	917,203円	887,000円
その他の個人	1,455,000円	545,000円
リサイクル募金	192,190円	33,397円
合 計	18,508,165円	24,850,218円

令和5年度寄附件数



	令和4年度	令和5年度
同窓生	290件	338件
法人・企業等	68件	70件
学内教職員	159件	145件
保護者	38件	34件
その他の個人	20件	14件
リサイクル募金	47件	33件
合 計	622件	634件

令和5年度 収支決算

収入の部

(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
法 人 ・ 企 業 等	70 件	9,880
同 窓 生	338 件	10,959
保 護 者	34 件	887
そ の 他 個 人	14 件	545
教 職 員	145 件	2,544
リサイクル募金	33 件	33
小 計	634 件	24,850
利 息 収 入 等	—	3,034
合 計	634 件	27,884

支出の部

(単位：千円)

項 目		金 額
学生修学支援事業基金		
授 業 料 等 免 除 事 業	授業料免除 8 名，入学料免除 4 名	2,735
学 資 給 付 事 業	学部生12名，大学院生 7 名	8,520
海外留学費用給付事業	短期留学 2 名	160
小 計		11,415
大学運営支援事業基金		
社会貢献活動支援事業	畜大生による地域貢献活動である「ちくだいらんぷ」事業への支援	197
小 計		197
合 計		11,612

(単位：千円)

令和5年度現預金残高	期 首	318,543
	期 末	334,815

令和5年度大学基金奨学生との懇談会を開催

令和5年11月20日（木）に、令和5年度帯広畜産大学基金奨学生との懇談会を開催しました。

帯広畜産大学基金では、学生修学支援事業として、経済的理由によって修学に困難がある学業成績が優秀な学生を対象に、学資給付事業や授業料等免除事業を実施しています。この懇談会は、同奨学生に大学基金の趣旨を理解していただき、有効に活用してもらうことを目的に開催しているものです。

はじめに、長澤学長から、「本奨学金の原資は、「畜大生のために」という想いで、寄附者の皆様からいただいた寄附金であり、有効に活用していただければと思います。」という旨の挨拶があった後、学生との懇談が行われました。

懇談では、学生から近況報告が行われ、「実習の時間が増え、アルバイトの時間が確保できない中、学業に専念することができた。」「奨学金のおかげで、伸び伸びと研究活動ができ、研究職に進みたいという気持ちを持つことができた。」「卒業後は自分も大学基金へ寄附し、還元していければと思っています。」などの基金奨学金に対する感謝の言葉がありました。

懇談会の終わりには、長澤学長から「大学で学んだことを活かせるような進路を目指していただけると嬉しく思います。学生時代という限られた時間を、勉強だけでなく、有効に過ごしてもらえればと思います。」と激励の言葉がありました。



長澤学長（前列中央）、舩川事務部長、仙北谷副学長（後列右から）、野並学長補佐（後列左）と
基金奨学生

基金奨学生・授業料免除学生からの感謝の言葉

「北海道で産業動物臨床の獣医師として社会に貢献できるように勉学に励んでいきたいと思います。」

畜産学部共同獣医学課程 6 年 関口かるな



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭なので経済的にあまり余裕がなく、また、今年度が最終学年ということもあり、研究室での活動や国家試験に向けての勉強でアルバイトの時間を削らなければいけなかったため、支援していただけてとても助かりました。私は生体防御学研究室に所属しており、人獣共通感染症の一つであるパペシア症に効く薬についての研究を行っていました。来年度から北海道で産業動物臨床の獣医師として社会に貢献できるように勉学に励んでいきたいと思います。ご支援いただいた方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

「奨学金をいただくことができたこと、とても感謝しております。」

畜産学部共同獣医学課程 5 年 谷地田桃子



昨年に引き続き、畜大基金の奨学金をいただくことができたこと、とても感謝しております。5年生になり、研究室活動や実習が忙しくなり、アルバイトに割ける時間が少なくなってしまうので、大変助かりました。研究室では、子牛の腸内細菌叢についての研究をしています。去年の夏には、日本畜産学会で発表させていただく機会をいただきました。大変光栄でした。ありがとうございます。残りの学生生活も残すところあと1年となりました。次年度は就職活動に卒業論文、そして国家試験の勉強が待っています。有意義な1年をおくりたいと思います。この度は奨学金に採用して頂き、大変ありがとうございました。

「アルバイトの時間を減らすことで、研究室で過ごす時間を確保しました。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 江口 夏帆



この度は帯広畜産大学基金に採択していただきありがとうございます。私は現在、動物生体機能学研究室で十勝の放牧飼養されているブタ「どろぶた」の筋肉および脂肪の季節による変化について研究をしています。4年生になり本格的に実験・研究をしましたが、実験が上手くいかず悔しい思いをしたときもありました。でも、あきらめず回数をこなしていくうちに、結果が出るようになりました。この1年間で、研究には時間が必要であることを知りました。私は奨学金をいただき、アルバイトの時間を減らすことで、研究室で過ごす時間を確保しました。そのおかげで、研究はもちろんのこと、仲間との充実した学生生活を送ることができました。

「奨学金のおかげで経済的な不安が解消され、学業に集中することができています。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 大澤 萌



この度は昨年度に引き続き帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。本奨学金のおかげで経済的な不安が解消され、学業に集中することができています。私は野生動物管理研究室に所属し、ヒグマと林業の共存というテーマで研究を進めております。ヒグマを排除するのではなく、人とヒグマとで空間的、あるいは時間的すみ分けを行うことで両者の遭遇を防ぎ、どちらも被害者にも加害者にもならないようにというのが研究の目標です。ヒグマによる人身事故が相次ぐ昨今ですが、野生動物と人との軋轢の解消に少しでも貢献できればとの思いで取り組んでおります。改めまして今回ご支援くださった皆様には重ねてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

「奨学金のおかげで実習期間中も心置きなく集中することができ、また研究の方も順調に進めることが出来ました。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 渡辺 李紗



この度は帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただきありがとうございます。私は食品科学ユニットに所属しており、マンガリツツア豚の亜種での違いについて研究しています。本研究は私で3年目であり、結果がある程度揃ってきましたので、違いについて検討する予定です。私は教職課程と学芸員の資格も取得しようと、様々な単位を履修し、実習もそれぞれ2週間ほどあったためアルバイトになかなか入れませんでした。しかし奨学金のおかげで実習期間中も心置きなく集中することができ、また研究の方も順調に進めることが出来ました。改めて帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただきありがとうございます。

「多くの方々に支援していただいていることを忘れずに勉学に励んで参ります。」

畜産学部共同獣医学課程 3 年 横山 航季



この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。私は獣医師になることを目指して帯広畜産大学に入学しました。1年生、2年生のときはアルバイトで十分に生活費を賄うことができていましたが、学年が上がるごとに勉強にかけたい時間が増えていき、アルバイトをする余裕がなくなってきました。現在は本奨学金を頂けているおかげで経済的な負担が減り、獣医学の勉強に集中して打ち込めています。このような勉学に打ち込める環境を与えて下さっているご寄附をいただいた皆様、関係者の皆様に心から感謝いたします。これからも、多くの方々に支援していただいていることを忘れずに勉学に励んで参ります。

「学業に集中して取り組むことができるようになりました。」

畜産学部畜産科学課程 3 年 長野 辰徳



この度は帯広畜産大学基金奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、学業に集中して取り組むことができるようになりました。私は家畜生産科学ユニットに所属し、昨年の夏に家畜栄養学の研究室に配属されました。現在、日本の畜産業は輸入に大きく依存している状態であり、持続可能な畜産を続けていくためには今後、飼料自給率の向上が課題となります。そのため、私は自給率向上に貢献する、地域の未利用資源の飼料化について研究したいと考えております。私は将来、北海道の畜産業に貢献できる人材になるために、学業に励んでいます。最後になりますが、ご支援いただいた方々に改めてお礼を申し上げます。

「ご支援いただいた皆様への感謝を忘れず、今後も学業へ励みます。」

畜産学部畜産科学課程 3 年 林 慶太



この度は基金奨学金の奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。本奨学金のおかげで負荷となっていたアルバイトの時間を減らし、学業へ集中することができています。食品科学ユニットに所属しており、これからパンを用いた研究に取り組む予定です。3年生では学生実習が授業で始まり、微生物を扱うものから食品を製造するものまであらゆる内容があり、学ぶ面白さを感じています。特に、食品製造に関する実習においては立派な施設で学ぶことができおり、ありがたい限りです。ご支援いただいた皆様への感謝を忘れず、今後も学業へ励みます。ありがとうございました。

「多くの方々に支えていただいているという自覚を強くもって勉学に励むことができております。」

畜産学部畜産科学課程3年 村上 勇人



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。昆虫生態学研究室に所属しており、今後は花粉を媒介する昆虫について研究を行っていく予定です。花粉媒介者として商業利用されていた外来種のマルハナバチが北海道内で脱走・繁殖し、北海道の固有亜種であるエゾオオマルハナバチは外来種との競争によって個体数を減らしています。農業において重要な花粉媒介者、北海道の生態を保全していくためにも研究対象の生態や環境への影響を調査していきたい所存です。本奨学金の奨学生として採用していただいたことで、多くの方々に支えていただいているという自覚を強くもって勉学に励むことができております。改めまして、本奨学生への採用を心よりお礼申し上げます。

「プライベートでも道内の様々な場所に出かけるなど充実した日々を過ごすことができました。」

畜産学部畜産科学課程2年 五反田音々



この度は、帯広畜産大学基金奨学金の奨学生に採用していただきありがとうございます。私はテクノロジーの力で農畜産業に関わる様々な問題を解決したいと考え、農業環境工学ユニットに所属しております。今年度は講義で1年次よりも進んだ内容を学んだ他、実習では機械の設計に欠かせない3D-CADの基本を学び、自身の興味を更に広げられた1年となりました。特に、実習ではこれまで触れたことのなかったモデリングを学ぶことができたため、非常に印象に残っております。また、プライベートでも道内の様々な場所に出かけるなど充実した日々を過ごすことができました。これもひとえに奨学金の給付があり、生活に余裕ができたおかげであると思います。本当にありがとうございました。

「大学の奨学金のおかげで日々授業や実習を受けることができ、そこで学んだことが実際の生活にも役立っています。」

畜産学部畜産科学課程2年 庄山 輝紗



私が帯広畜産大学で一番印象に残ったのは、全学農畜産実習の牛の搾乳の実習です。それまで、牛に触れたこともなかった私にとっては、初めて牛の大きさや色や温かさを知ることになりました。牛の搾乳をしているとき、ミルカーをつけるのをてこずっていると足を上げ下げしたりしていました。自分が搾乳初心者だということを牛に見透かされたような気がして、自分の行動が牛に反映されるのだと気づかされました。その後搾乳バイトをすることになった時、自分の行動が牛の行動に影響を与えることを意識して、搾乳をするようにしています。大学の奨学金のおかげで日々授業や実習を受けることができ、そこで学んだことが実際の生活にも役立っています。ありがとうございます。

「今後ともご支援くださった皆様への感謝を忘れずに、より一層努力して参ります。」

畜産学部畜産科学課程1年 林 明花里



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。ご支援いただいたことで無理なく新生活にも馴染め、この1年間は学業、課外活動ともに積極的な姿勢で臨むことができました。特に学業面では、授業の他にも十勝旅等に参加したことで十勝の農畜産業を体系的に学べたと感じております。十勝は知れば知るほど魅力的で、この土地でこうして学業に真剣に向き合っていることに喜びを抱くと同時に、これも奨学金のおかげだということを実感しております。今後ともご支援くださった皆様への感謝を忘れずに、より一層努力して参ります。この度は本当にありがとうございました。

「研究者として学生を指導できる人材になります。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻3年 恵木 徹



この度は大学基金奨学金の奨学生に採用していただきありがとうございます。現在、私は「アンデス高地における未利用資源の飼料化および家畜生産効率改善に関する研究」というテーマで研究しています。ボリビアのウユニ地方は寒冷乾燥条件により植物資源量が制限されている中、農業生産はこのような厳しい環境に適したキヌアおよびリャマの複合生産が主体となっています。キヌア生産の低下やリャマ生産の低迷などにより、持続的な農業生産活動が危ぶまれています。そのため、キヌアを中心とした持続的な耕畜連携システムの再構築が求められています。この研究を遂行するにあたり、現地調査や現地の技術者とのミーティングが必要です。私が研究に没頭できている要因として、奨学金による経済的なゆとりが大きいと感じています。同じ境遇におかれた学生を支援できるように、基金の寄附だけでなく研究者として学生を指導できる人材になります。

「今まで研究に打ち込めたのもひとえに援助して下さいました皆様のおかげです。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 梅村 薫人



この度は、大学基金奨学金として採用していただき、心より御礼申し上げます。基金奨学金により、多大な恩恵を受けており、充実した大学生活を送る事ができております。博士前期課程として在学し、絶滅危惧種に指定されているアマミノクロウサギの腸内細菌叢の研究を行なっていました。本動物での細菌学分野の研究は、私の所属する研究室が初の試みであり、細菌の培養試験などのプロトコルがなく、全て手探りの状況で実験をしてきました。その集大成である修論執筆ならびに発表に向けて現在取り組んでおります。今まで研究に打ち込めたのもひとえに援助して下さいました皆様のおかげです。本学で得た知識を社会人として働く中で発揮したいと考えております。重ねて、お礼申し上げます。

「今後も皆様への感謝の気持ちを忘れず研究活動に励み、本研究から食品生産者の方々や高齢化社会へ少しでも貢献できればと思っています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 桑島 千紘



まず初めに、奨学生に採用して頂き、誠にありがとうございます。私は現在大学院にて新規発酵飲料の開発と生化学的分析というテーマで研究を進めており、原料としてチーズ製造の副産物であるホエイと日本酒製造の副産物である酒粕を用いて発酵飲料を作成し、特定の乳酸菌で発酵させることで生成されたペプチドの解析を行っています。現段階では認知機能改善効果のあるペプチドが含まれる可能性が高いという事が分かっており、このようなペプチドの収量を増やすにはどうしたら良いのか検証をしている段階です。今後も皆様への感謝の気持ちを忘れず研究活動に励み、本研究から食品生産者の方々や高齢化社会へ少しでも貢献できればと思っています。

「帯広畜産大学基金に携わっている皆様へ、この場をお借りして心より感謝申し上げます。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 岡崎 樹生



私は、大学3年次から動物生体機能学研究室に所属し、新規畜産物として十勝地方に導入されたマンガリツァ（ブタ）に関する研究を行ってきました。マンガリツァは、ハンガリー原産の在来豚であり、ラードタイプのブタです。博士前期課程では、マンガリツァの脂肪組織に着目し、その季節における変化を明らかにすることを目的として研究を進めています。大学院へ進学した当初は家庭の事情から、研究活動とアルバイトの両立に苦しんだ時期もありましたが、皆様のご支援のおかげで、研究を続けることができています。今後も、研究をより深化させ、実験および論文執筆に邁進してまいります。帯広畜産大学基金に携わっている皆様へ、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

「皆様の支援でできた貴重なチャンスを逃さないように絶えず努力していきたい
と思います。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 中山 睦美



この度は昨年に引き続き、帯広畜産大学基金を給付してくださり、誠にありがとうございます。家庭の負担を減らすこと、自分の本当にやりたいことをやる為に本奨学金制度のことを知り申請いたしました。たくさんの方の力添えをいただき、植物病理の研究室で日々北海道での植物生産および防除についての研究をしています。自分の研究がいつか、誰かの為に役立って欲しいと願っています。奨学生に採用された事により週5で働いていたアルバイトの時間を週3まで減らし、その分さまざまな資格取得のための勉強時間や研究時間にあてることができました。皆様の支援でできた貴重なチャンスを逃さないように絶えず努力していきたいと思います。

「将来は自分の仕事を通して、誰かを笑顔に出来るような社会人になりたいと考えています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 鍋島 広海



初めに、帯広畜産大学基金に御寄附頂いた皆様、及び全ての関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。私は、微生物生態学研究室に所属しており、森林生態系において分解者としての役割を担っている菌類の、種毎の落葉分解能力や、多様な菌類種間の相互作用が、落葉の分解に与える影響について研究しています。大学では研究の他、授業やTA等に追われ、アルバイトをする時間も無く、厳しい生活を送っていましたが、本奨学金により、金銭面の他、時間の面でも余裕ができ、研究に打ち込めるようになりました。今後も皆様から頂いた感謝を忘れず、学生生活で得られた経験を糧に、将来は自分の仕事を通して、誰かを笑顔に出来るような社会人になりたいと考えています。

「私が学生生活を続けられているのは、皆様のご支援があったためであり、この場をお借りして心より感謝申し上げます。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 六鹿 南美



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。本奨学金のおかげで学業に集中することができ、充実した学生生活を送らせていただいています。今年度からは大学院に進学し、日本酒の研究を行っています。大学構内に所在している上川大雪酒造さんからお酒を提供していただき日本酒の成分分析を進めています。日本酒は日本が誇る伝統的で高度な技術が必要なお酒ですが、国内では日本酒離れが問題視されています。そこで、日本酒業界に貢献させて頂ければと思い日々研究を進めています。

最後になりますが、私が学生生活を続けられているのは、皆様のご支援があったためであり、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

「ご支援をいただいたことを忘れずに研究に取り組み、対州馬の保護に向けて全力を尽くしていく所存です。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 中屋 桜



この度は帯広畜産大学基金を通して入学料を免除していただき、心より感謝申し上げます。私は大学3年次より家畜育種学の研究室に所属し、現在は個体数の減少により絶滅の危機に瀕している在来馬である対州馬の飼養環境の向上をテーマに、行動データの分析や遺伝子との関係調査などを行っています。今年度は私にとって環境の変化の大きい年であり、経済的な不安やそれに伴う研究・学業のための時間が確保できないのではないかと不安もありましたが、入学料を免除していただいたおかげで研究活動に専念することができております。これもひとえに皆様からの温かいご支援のおかげだと考えております。ご支援をいただいたことを忘れずに研究に取り組み、対州馬の保護に向けて全力を尽くしていく所存です。この度は誠にありがとうございました。

「今後も、ご支援頂いたことへの感謝の気持ちを忘れずに研究活動で貢献できるように努めていく所存です。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻 1 年 吉田 涼



この度は、授業料および入学料免除に採用していただき誠にありがとうございます。私は、農業機械工学の研究室に所属しており、農作業機械、特に作物の防除を行なうブームスプレーヤの無人システムの開発を行なっています。十勝の農業従事者は高齢化と減少の一途をたどっています。スマート農業が発展していく中で、農作業機械の無人化技術は、ますます必要不可欠になると考えられます。私の研究活動の一部が農家の方々の負担軽減や新規就農者を増やすきっかけになり、ワクワクするような農業の形成に役立てば幸いです。今後も、ご支援頂いたことへの感謝の気持ちを忘れずに研究活動で貢献できるように努めていく所存です。

「今後も受けた御恩と学びの機会を大切にし、夢の実現に向けて日々精進してまいります。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻 1 年 武田 千花



帯広畜産大学基金にご寄附をいただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。私は幼い頃から自然が大好きで、広い視点で環境保全に携われる人材になりたいと思い、本学に入学しました。3年生に第一希望の研究室への配属が決まり研究生活が開始し、修士1年生の現在は、砂浜生態系における生物多様性保全のための新たな保護地域の設定を目的に研究を進めています。皆様からの沢山の温かいご支援のおかげで、家庭の事情で金銭的に余裕がない中でも、私はアルバイトの時間を減らすことができ、生まれた時間の中で勉学に励むことができています。今後も受けた御恩と学びの機会を大切にし、夢の実現に向けて日々精進してまいります。この度は誠にありがとうございました。

「今後のご支援いただいた感謝を忘れず、より一層学業・研究に尽力していきたいと思います。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻 1 年 由宇 安月



この度は、帯広畜産大学基金奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。奨学金を給付していただいたことで、アルバイトの時間を減らすことができ、学業に打ち込むことができています。現在、真菌学研究室に所属し、人獣共通感染症であるアスペルギルス症の原因真菌を対象として、新たな抗菌薬創出に貢献することを目標に研究を行っています。大学院進学の際に専攻を変更したため、日々新しいことを学ぶことの連続であり大変なこともあります。楽しみながら情熱を持って取り組んでいます。今後のご支援いただいた感謝を忘れず、より一層学業・研究に尽力していきたいと思います。

「今後は大学院博士課程に進学し、寄生虫に対する蚊の免疫応答についての研究を行う予定です。」

畜産学部共同獣医学課程 6 年 倉本 樹



この度は授業料の免除をしていただきまして誠にありがとうございます。私は原虫病研究センターの研究室にて原虫病へのビタミンEを由来とする酸化剤の効果に関する研究を行ってきました。私は入学時から研究室での活動を楽しみにしており、その活動に専念したいと考えておりました。この度の授業料免除のおかげで本来アルバイトに費やしていた時間を研究活動のために割くことができ、海外での学会発表にも参加することができました。今後は大学院博士課程に進学し、寄生虫に対する蚊の免疫応答についての研究を行う予定です。このような決断をすることができたのも授業料免除による支援のおかげであり、大変感謝しております。

「今後も皆さまからのご支援に感謝を忘れず、社会に貢献できる獣医師を目指して精進してまいります。」

畜産学部共同獣医学課程 5 年 工藤 綾



この度は帯広畜産大学基金のご支援により授業料を免除していただき、まことにありがとうございます。私は解剖学研究室に所属し、ペンギンの解剖学的発生過程を研究しております。私は他大学から帯広畜産大学へ再入学しております。経済的な余裕がない中、こうしてさまざまな動物を扱える帯広畜産大学で高度な獣医学を学んでいただけるのは、皆さまからの暖かいご支援のおかげでございます。今後も皆さまからのご支援に感謝を忘れず、社会に貢献できる獣医師を目指して精進してまいります。改めまして本当にありがとうございます。

「授業料免除はアルバイトの時間を減らし、研究や診療に参加する上で非常に有意義なものとなります。」

畜産学部共同獣医学課程 5 年 村上 零弥



この度は、帯広畜産大学基金授業料免除に採用していただき、ありがとうございます。私は、伴侶動物外科学研究室に所属しており、今年度は動物医療センターの診療にほぼ毎日参加し、様々な知識や手技の獲得に努めました。私の研究内容は、犬の多血小板血漿という血小板を濃縮した再生医療製剤のプロトコルの検討を予定しています。研究は構想段階にありますが、診療との両立をしながら進めていくことになります。私は奨学金とアルバイトによる収入で生活している状況にありますので、授業料免除はアルバイトの時間を減らし、研究や診療に参加する上で非常に有意義なものとなります。採用していただいた感謝の気持ちを忘れず、今後も研鑽を積んでいきたいと思っています。

「採用していただいた感謝の気持ちを忘れず、今後も研鑽を積んでいきたいと思っています。」

畜産学部共同獣医学課程 5 年 山田穂乃香



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。現在、臨床繁殖学研究室に所属し、牛の繁殖学について日々学んでいます。研究室の活動としては、大学附属農場での牛の繁殖管理や外部牧場の繁殖検診等があります。フィールドで実際に牛を見て、自身で考えることで、知識や技術を向上させることができます。卒業研究のテーマは牛の体外受精についてです。体外で命を生産するという、生物、繁殖学の神秘性に魅力を感じています。皆様のご支援に感謝し、残りの学生生活をより有意義なものにできるよう、多くのことを学び、様々なことに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

「今後、研究者としてさらに精進し、研究成果を社会に還元することで、自分自身が頂いたご恩をお返ししたいと思っております。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻 3 年 金 翔宇



この度は、帯広畜産大学基金のご支援により授業料免除をしていただきありがとうございます。この基金のおかげで博士研究に没頭することができました。博士研究では、耐寒性が乏しいブタおよびブタの脂肪組織から作出した初代培養を用いて、脂肪の褐色化の分子メカニズム解明を行い、ブタはUCP3というタンパク質によって褐色化することを明らかにしました。その成果を日本生理学会や哺乳類学会での発表や、筆頭著者として和文誌 1 報および国際誌 2 報を発表することができました。今後、研究者としてさらに精進し、研究成果を社会に還元することで、自分自身が頂いたご恩をお返ししたいと思っております。本当にありがとうございました。

「多くの方々のご支援のおかげで、研究活動に専念することができていることへの感謝を常に忘れず、責任感も持ちながら今後も精進いたします。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 開澤 菜月



初めに、帯広畜産大学基金にご寄附いただいた皆様、そして関わっていただいた全ての皆様に深く感謝申し上げます。私は昆虫学研究室に所属し、学部3年から足がたくさんある虫（ムカデ類やヤスデ類）の分類および生態を研究しています。博士後期課程からは、これまでほとんど知られていなかった、豪雪地帯や寒冷地帯で冬期に活動するムカデ類およびヤスデ類に注目して研究を進めています。また、北海道のムカデ類・ヤスデ類相の解明もサブテーマとして取り組んでおり、論文として成果を発表できるように努めています。多くの方々のご支援のおかげで、研究活動に専念することができていることへの感謝を常に忘れず、責任感も持ちながら今後も精進いたします。この度は、誠にありがとうございました。

「皆様のお力添えにより金銭的負担が減ったことで研究に専念することができ、実りある大学院生生活となりました。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 野村 風沙



帯広畜産大学基金を通じて授業料を免除していただき、誠にありがとうございます。修士論文では、黒毛和種経産牛の脂肪色ならびに脂肪酸組成に及ぼす環境要因および遺伝要因を分析しました。研究テーマは十勝の生産者の方とお話する中で決定していき、経産牛肉の高付加価値化に寄与することを目的として邁進しました。また、複数の学会参加を通じて多角的なご助言をいただくことで、原著論文を2本投稿でき、現在も追加で執筆中と非常に学びの環境に恵まれた日々を送ることができました。このように、皆様のお力添えにより金銭的負担が減ったことで研究に専念することができ、実りある大学院生生活となりました。ご支援いただきましたことを心より感謝申し上げます。

「授業料を免除していただいたことでアルバイトに時間を割くことなく、研究活動に力を入れることができます。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 富田 綺咲



この度は、帯広畜産大学基金のご支援により授業料を免除していただきありがとうございます。私は学部3年次から動物生理学の研究室に所属し、生理学および繁殖学を学んできました。卒業研究では、膣内LPS投与による急性子宮内膜炎マウスモデルを作製し、子宮内膜における炎症機序の解明研究を行いました。現在は、慢性子宮内膜炎マウスモデルを作成し、急性との比較および慢性子宮内膜炎の炎症機序について研究しています。授業料を免除していただいたことでアルバイトに時間を割くことなく、研究活動に力を入れることができます。改めて、授業料を免除していただいたことに心から感謝申し上げます。

畜大生グローバルチャレンジによる奨学生

畜大生グローバルチャレンジは、グローバル人材として求められる語学力・コミュニケーション能力の養成やキャリアディベロップメントの機会づくりを目的とした、海外留学応援事業です。

畜産学部 畜産学部 畜産科学課程 2 年 篠崎 真太郎

留学期間：2023 年 7 月 23 日 ～ 2023 年 8 月 22 日

留学先国：ニュージーランド

活動概要：

多国籍のボランティアの人々と共に、無農薬農業における土地の管理や、植樹などの作業を行いました。また、ニュージーランド初の女性首相ジャシンダアーダーン氏も視察に訪れた KAI IKA プロジェクトでは、週に 2 回、廃棄予定の魚数百匹を地域の人々に配布する活動をしました。このような取組を通して、ニュージーランドにおける社会と環境の共存に対する考え方を理解することができました。



無農薬農業の様子



無農薬農業で収穫した野菜の販売

留学を通じて最も成長した経験：

一言で言えば、「多様性」を認識できたことです。日本と違いニュージーランドは、多くの人種が混在し、マオリ文化をはじめとする慣習や完全菜食主義者ヴィーガンの存在など、多様性を社会に内包しており、そのために人種差別が少ないことを学びました。

感謝の言葉：

私は、以前から将来は国際社会で活躍したいと考え、まずは一度海外経験をしたいと思っていましたが、様々な不安がありなかなか踏み出せずにいました。しかし、今回このような挑戦の機会をいただいて、大きな一歩を踏み出すことができました。留学先では、多くの経験をすることができ、世界の多様な価値観にも触れることができました。今回の留学は、これからの私のキャリア形成にとって非常に有意義で大変感謝しております。

畜産学部 共同獣医学課程 5年 千葉 陸斗

留学期間：2023年7月23日 ～ 2023年8月22日

留学先国：ペルー

活動概要：

ボランティアとしてペルーの熱帯雨林で生活し、環境保護活動を行いました。具体的な実践活動としては、マホガニー植林地の整備と計測や、動物再生プログラム、繁殖プログラム、野生動植物のデータ収集を行いました。これらの保護活動を通して、タリカヤ自然保護区における最善の保護対策について考えるとともに熱帯雨林の現状や人間と自然の共存の難しさをあらためて学ぶことができました。また、獣医学生として現地の獣医師と交流することで野生動物についても学ぶことができました。



滞在二日目の夜、保護しているクモザルの赤ちゃんへの餌やりを体験した。サルは人間と共通の感染症があるため、マスクを着用したうえで行った。餌を押し出すスピードが難しく、遅すぎるとおねだりが激しくなり、早すぎると口からこぼれてしまう。サルの赤ちゃんに餌をあげる機会は今までなかったので、とても良い機会になった。



留学を通じて最も成長した経験：

二週間一緒に過ごしたペルーの獣医学生がインターンシップの期間を終え、帰る際に撮った写真。自分も獣医学生ということもあり、ボランティアの中でも特に仲良くなった。別れは寂しかったけど彼らと過ごした時間はかけがえのないものとなった。

物事を簡単に説明する能力は上がったと感じています。生活していたジャングルではインターネットが使えなかったので、伝えたい単語の英訳がわからなくても翻訳できませんでした。そのため、その単語をより簡単な表現で説明するというスキルはかなり上がったと思います。

感謝の言葉：

この度は助成していただきありがとうございました。留学先がペルーの熱帯雨林だったことから渡航前の予防接種やジャングル用の衣服、虫よけなど、航空券や滞在費のほかにも費用がかかりました。貴基金からの助成金はこのような渡航前の準備費に充てさせていただきました。かけがえのない経験ができたのも助成していただいたおかげです。ありがとうございました。

令和5年度ちくだいらんぷ事業について

事業を通じて学生の地域志向を育み、卒業後も十勝の応援団として活躍する人材づくりを目的に、学生が中心となり、帯広・十勝の活性化を図る「ちくだいらんぷ事業」の取組を支援しました。「文化・スポーツコース」「地方創成・地域活性化コース」「おびひろ動物園活性化コース」の3コースに分け、学生から企画を募集しました。今年度は全5件の事業を採択し、活動を行いました。

令和6年1月26日、1月31日、2月8日に事業報告会を実施し、各団体の学生代表が事業の報告をした後、成果や反省点等について話し合われました。

◇文化・スポーツコース（愛称：「みんなのちくだい。」）

一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団との連携事業で、文化活動やスポーツ活動を通じた畜大生自身による地域貢献活動により、地域の人たちと交流を深められる体験型のコース

団体名	事業名	実施日
カーリング部	Let's go! みんなでカーリング	令和5年11月 3日
アメリカンフットボール部	アメフトふれあい体験～フラッグフットボールをしよう～	令和5年12月16日

（採択事業2件）

Let's go! みんなでカーリング

地元の方々にカーリングを体験し、生涯できるスポーツであることや大人から子どもまでが一緒に楽しめることを伝え、カーリングを始めるきっかけを提供することを目的としています。



アメフトふれあい体験

地域の子供たちにアメリカンフットボールを知ってもらい、体を動かすことの楽しさを知ってもらうことを目的として、アメリカンフットボール部によるタッチフットボール体験を実施しました。



◇おびひろ動物園活性化コース（愛称：「ずーぷろ」）

おびひろ動物園との連携事業で、おびひろ動物園を今よりもさらに魅力的にするために、畜大生が自主的に企画するコース

団体名	事業名	実施日
Zooful	どうぶつ探偵ツアー～うそとほんとの推理ゲーム～	令和5年10月14日・22日
うしぶ。	おびひろ動物園・生き物の子育てと食事	令和5年10月28日・29日

（採択事業2件）

どうぶつ探偵ツアー～うそとほんとの推理ゲーム～

学生団体Zoofulは、動物に対する新たな視点や興味を持ってもらうきっかけを作り、おびひろ動物園への来園を促すことを目的として、学生による園内ツアー、展示動物に関するクイズを出題し、小学生に回答してもらう推理ゲームを実施しました。



生き物の子育てと食事

うしぶ。は、おびひろ動物園の動物ごとの子育ての仕方や、食性の違いを多くの人に楽しく学んでもらうことを目的としてスタンプラリーを実施しました。



◇地方創成・地域活性化コース（愛称：「とかチャレ」）

帯広・十勝の地域課題の解決等、地域の活性化につながる企画として、畜大生が自主的に実施する企画コース

団体名	事業名	実施日
酒粕商品開発部	酒粕商品開発～未利用資源酒粕の有効活用～	令和5年6月～12月

（採択事業1件）

酒粕商品開発～未利用資源酒粕の有効活用～

学生団体酒粕商品開発部は、「学生のチャレンジ」をキーワードに帯広・十勝をもっと「元気」にするため、学生の創造的なアイデアの実現を後押しすることを目的として、学内にある上川大雪酒造株式会社の碧雲蔵から酒粕をご提供いただき、SNSを活用して酒粕を使ったレシピを紹介する活動や、畜大祭での「酒粕ミルク団子」の販売を実施しました。



ちくだいホームカミングデー2023を開催

令和5年10月7日（土）に「ちくだいホームカミングデー2023」を開催しました。「ちくだいホームカミングデー」は、本学の卒業生、修了生及び元教職員の皆様に、再び本学に足をお運びいただき、同窓生や在学生、教職員との交流を深めていただくために開催しているイベントで、帯広畜産大学同窓会・畜大祭実行委員会との共催で開催しました。当日は全国各地から、150名を超える参加者にお集まりいただきました。

なお、懇親会費の執行残額19,475円は帯広畜産大学基金へ寄附させていただきました。



記念写真



開会式での学長挨拶



学生団体によるフード提供



懇親会の様子



輪になって逍遙歌を合唱

寄 附 者 ご 芳 名

[企業・団体等] (74団体)

(五十音順・敬称略)

【100万円】

敷島製パン(株)

【50万円】

日本甜菜製糖(株)

社会医療法人北斗

【30万円】

(株)土谷特殊農機具製作所

十勝農業協同組合連合会

宮坂建設工業(株)

【25万円】

帯広信用金庫

【20万円】

(株)十勝毎日新聞社

(株)ホクチク

よつ葉乳業(株)

【10万円】

(株)ズコーシャ

内外施設工業(株)

ハラデンキ(株)

(株)北海道フーズ

【6万円】

(株)北洋銀行

【5万円】

十勝信用組合

十勝農協連畜大同窓会

(株)平田建設

【3万円～3万9千円】

税理士法人 竹川会計事務所

北成建材工業(株)

酪農畜産乳業関連・帯広畜産大学有志同窓会

【2万円】

美瑛町農業協同組合

【1万円】

出雲ペットクリニック

NCカード(株)

【企業名・団体名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

(有)青田企画巧芸	(株)アクト	(株)伊豆倉組
大槻理化学(株)	(株)小澤建設	帯広市川西農業協同組合
帯広商工会議所	帯広地方卸売市場(株)	(株)北口電器商会
合同会社エイル	(株)笹原商産	三和会
士幌町農業協同組合	全国酪農業協同組合連合会	(株)曾我
(株)ダイイチ	大樹町農業協同組合	大昭電気工業(株)
(株)高野友和厩舎	東洋農機(株)	十勝清水町農業協同組合
十勝地区農業協同組合長会	(株)日専連ジェミス	バイオマスリサーチ(株)
富士金網製造(株)	北王コンサルタント(株)	北慎建設工業(株)
(株)北海道新聞社帯広支社	北海道電力ネットワーク(株)	北海道農業協同組合中央会帯広支所
北海道富士平工業(株)	三菱商事(株)北海道支社	宮本機械(株)
宮本商産(株)	やまびこ動物病院(株)	(株)山本忠信商店
(株)柳月	Y S ヤマショウ(株)	

不掲載希望等 11団体

【個人・学外】 (329名)

(五十音順・敬称略)

【50万円】

松橋 亘 吉田 武徳

【20万円】

斉藤 篤

【11万円】

大宮 良文

【10万円～10万9千円】

今田 忠夫	恩田 求	久保田良子	沢田 壮兵	陣野原佳弥
飛松 一樹	長岡源一郎	西田 雅之	林 克昌	三浦 俊幸
村上 豊	諸角 元二			

【5万円】

加藤 道博	坂井 清治	崎元 守	出口 宣夫	中兼 正次
名和 靖史	丸田 志郎	山中 健司	山本 哲也	

【4万円】

高橋 秀清

【3万円～3万9千円】

池田 奉昭	菅野 典雄	中村 隆宏	林 孝英	三浦 輝雄
安田 昌英				

【2万円】

伊織 嬌子	石川 諭史	市村 豊	印牧 馨	澤田 拓士
細川 修	細川 誠	松田 孝志	松田 尚文	森井 恒幸

【～1万5千円】

池下 圭三	伊藤 邦博	乾 英二	岩佐 博仁	植田 健仁
宇草 哲夫	内山 和夫	海村 正義	大杉 雄毅	折橋 秀夫
勝俣 和悦	亀尾 勇人	倉富 聡	栗田志之利	笹渕 俊幸
佐藤 基佳	柴田 雄二	下道 宏作	白澤 昌彦	砂川 敏文
高木 俊雄	高橋 英三	高橋 次夫	長南 隆夫	辻 修
釣田さりま	西 武久	畠山美智子	早坂貴代史	早坂 純一
林 俊克	原 啓二	原田 弘智	深沢 晃	益田 邦郎
三上 正幸	宮本 道男	村上 洋子	八重樫伸男	山添 博次
横沢 冲彦	和田 明	渡辺 順		

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

相場 武	明見 好信	浅倉 幾美	芦澤 明	熱田 幸江
有沢 道朗	有田 大作	有賀 裕子	池永 雅一	石川 智之
石田 正人	伊藤 隆範	伊藤 宏	稲岡健太郎	稲垣 和雄
猪子 敏夫	岩波 道生	宇井三喜子	上田 広之	大芝 英明
太田 修一	大竹 敏恵	大谷 亨	大友 秀文	大町 哲也
岡崎 充成	奥田 潔	奥村 隆雄	小田 昌秀	小原 裕光
角正 美雪	影山 晴久	風間 幹生	梶 隆	梶 孝幸
梶山 国宏	柏村 文郎	加藤 博	兼松由紀江	鎌田 隆
河口 和吉	川崎 寧	川瀬 貴晴	川田 泰正	川村 雅貴
神林 昌也	久住 正博	国島 博	久保 長旦	小坂 寛
小西 正人	小林 幹子	小林 幸雄	小山 洋	五郎谷克二
近藤 元子	齋藤 温子	齋藤 敦子	斉藤 正明	斎藤 政克
酒井 國雄	坂口 昭彦	貞広 綾子	佐村 久夫	島 哲哉
島貫 正道	清水 一広	清水 由比	白井 茂雄	白戸 綾子
新酒 英暁	須藤 正之	住友 寛	相馬 直子	園田 眞
高嶋 浩一	高橋 繁男	高橋セツ子	高橋やす子	高橋 亮也
高畠 孝一	高松 彰義	竹内 優貴	竹迫 紘	竹迫 真樹
田中 静幸	田中 秀明	谷口 徹也	丹野 久夫	辻本登志英
辻本 宗裕	寺崎 景子	東條 雅彦	中川 欣三	長澤 次郎
中島はるな	中曾根 宏	中村 勝	中村 芳則	中屋 尚也
南部 実	西田 讓	西村 達弥	新田 隆典	似鳥 英司
野川 浩道	野本 優二	羽柴 清志	蜂谷 進	花岡 豊
羽田 昭夫	林 三千恵	坂東 義和	久野 紀子	蛭川 俊介
広瀬 春行	福本 幸久	藤代 寛	藤村 裕一	別所 明
星野 敏伸	細井 茂樹	前田恵美子	増本多喜子	松井 邦男

丸山 純孝	三浦 和郎	三津原 勝	密本 眞弓	三原 正士
宮崎 達也	宮崎 敏男	宮原 達史	三好 雅史	村林 宏
森本 英敬	矢木沢徳弘	山崎 孝雄	山下 博司	山保 浩之
山本 素子	勇川 順子	横尾 博	横山 誠人	吉田 定弘
吉野 英治	米山 修	和田 芳昭	渡辺 睦実	

不掲載希望等 95名

[個人・学内] (130名)

(五十音順・敬称略)

【22万円】

南保 泰雄

【10万円～12万円】

井上 昇 長澤 秀行

【5万円～9万9千円】

大坪 秀典 舛川 正晃 野並 雅章

【2万円～4万9千円】

小川 晴子 口田 圭吾 佐藤 健一 佐藤 康幸 手塚 雅文
 福島 道広 宗岡 寿美

【1万円～1万9千円】

大林 姿子 岡田 繁 小田 賢一 笠原 誠人 嘉屋 元博
 川村 正洋 草場 信之 国友 千帆 窪田さと子 西田 慎吾
 福田 健二 三宅 俊輔 村上 徹 村西 由紀 森 正彦
 柳川 久 和田 大輔

【～9千円】

生田 和哉 石割 厚希 押田 龍夫 海田 芳隆 加藤 豊
 玄 学南 坂本さや香 杉田帆奈美 千葉三都希 津野 由希
 中島 司典 中野 昌明 花田 正明 堀田 努 矢吹衣理奈
 山口 将 若木 海理

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

相内 大吾	麻田 正仁	穴澤 清幸	有安 友美	石井 利明
大川晶由里	大西 一光	岡村 雅史	春日 純	茅野 光範
木村 賢人	後藤 達彦	齋藤 謙一	斉藤 準	佐々木基樹
佐野 忠士	島田謙一郎	田上 正明	武田 洋平	武山 暁子
田中 秀樺	谷 昌幸	塚本 孝志	道見 康文	得字 圭彦
西田 武弘	早坂 美穂	東 陽介	松井 基純	松本高太郎
松元 志帆	間宮 光岳	村田浩一郎	山崎 栄樹	吉野 綾華
渡辺 純				

不掲載希望等 47名

感謝状の贈呈

このたび、大学基金に対して多大なご支援をいただいた内外施設工業株式会社、高橋 良平氏、吉田 武徳氏並びに奥田 潔氏に対し、長澤 秀行学長より感謝状を贈呈しました。

この感謝状は、大学基金で定める「謝意表明の基本方針」に基づき、大学基金が創設された平成22年4月以降、企業・団体等にあっては累計100万円以上、個人にあっては累計50万円以上のご寄附をいただいた方に対して贈呈するものです。



内外施設工業株式会社 代表取締役社長
林 克昌氏と長澤学長（左から）



高橋 良平氏と長澤学長（左から）



吉田 武徳氏



奥田 潔氏

帯広畜産大学基金運営委員会委員名簿

構成員 13名（任期2年：令和6年4月1日～令和8年3月31日）

	職 名	氏 名
委員長	帯広畜産大学 学長	長澤 秀行
委 員	宮坂建設工業(株) 代表取締役社長	宮坂 寿文
	日本甜菜製糖(株) 常務執行役員	田村 雅彦
	よつ葉乳業(株) 常務取締役十勝主管工場長	井出 元郎
	帯広商工会議所 会頭	川田 章博
	帯広信用金庫 理事長	高橋 常夫
	(株)十勝毎日新聞社 代表取締役社長	林 浩史
	(株)ズコーシャ 代表取締役会長	関本 裕至
	特定非営利活動法人十勝障がい者支援センター 理事長	門屋 充郎
	帯広畜産大学同窓会 会長	三津原 勝
	帯広畜産大学 副学長	古林与志安
	帯広畜産大学 副学長	仙北谷 康
	帯広畜産大学 副学長	中野 昌明

帯広畜産大学基金規程

平成22年 1月21日規程第1号

制 定

改正 平成28年 7月29日規程第30号 平成29年 3月28日規程第15号

令和4年 4月 1日畜大規程第1号

(設 置)

第1条 帯広畜産大学（以下「本学」という。）に、経済的理由により修学に困難がある学生等を対象とした修学環境を支援するための基金として学生修学支援事業基金を、また大学運営及び社会貢献に関する活動を支援するための基金として大学運営支援事業基金を置く。

(学生修学支援事業基金)

第2条 学生修学支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。

- (1) 授業料、入学料又は寄宿料の免除等の経済的負担の軽減を図る事業
- (2) 学費を貸与又は給付する事業
- (3) 海外留学費用を給付する事業
- (4) 教育研究業務に従事させるための雇用経費を支給する事業

2 学生修学支援事業基金は、前項に定める事業を寄附目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(大学運営支援事業基金)

第3条 大学運営支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。ただし、前条第1項に掲げる事業を除く。

- (1) 教育研究環境の整備に関する事業
- (2) 社会貢献活動の支援に関する事業
- (3) 産業界又は同窓生との連携に関する事業
- (4) その他本学運営のために必要な事業

2 大学運営支援事業基金は、前項に定める事業を目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(基金の管理)

第4条 学生修学支援事業基金及び大学運営支援事業基金（以下「各基金」という。）は、この規程及びこの規程に基づく定めによるほか、国立大学法人北海道国立大学機構寄附金取扱規程（令和4年度機構規程第88号）により寄附の管理を行うものとする。

(基金の使途)

第5条 学長は、各基金の寄附の受入の決定にあたり、寄附者があらかじめ使途を特定しない場合においては、これを特定しなければならない。

2 各基金に対して納付された寄附金の使途は、変更してはならない。

(基金の運営)

第6条 各基金はそれぞれ区分して経理することとし、その運営は、各基金毎に受け入れる寄附及びその果実をもって充てる。

2 各基金の運営に関する重要事項の審議は、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）が行う。

3 委員会の組織運営等については、別に定める。

（賛助会員）

第7条 各基金の目的に賛同する者は、賛助会員となることができる。

2 賛助会員及び賛助会費に関し必要な事項は、別に定める。

（事業年度）

第8条 各基金の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

（庶務）

第9条 各基金の庶務は、関係課等の協力を得て、企画総務課において処理する。

（雑則）

第10条 この規程に定めるもののほか、各基金の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則（平成28年7月29日規程第30号）

この規程は、平成28年7月29日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月28日規程第15号）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（令和4年4月1日畜大規程第1号）

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

帯広畜産大学基金賛助会員規程

平成22年1月21日規程第2号

制 定

改正 平成28年7月29日規程第31号 令和4年4月1日畜大規程第1号

(趣 旨)

第1条 帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第7条第2項の規定に基づき、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の事業活動をより充実したものとするため、この規程を定める。

(賛助会員)

第2条 賛助会員は、基金の目的に賛同し、継続的に事業に協力するものであって、この規程に定める賛助会費を納付した者とする。

(賛助会費)

第3条 賛助会費の額は、次のとおりとし、1口以上を申し込むことができる。

- (1) 個人会員の場合は、1口年額5千円とする。ただし、教職員については、1口月額500円として申し込むことができる。
- (2) 法人・団体会員の場合は、1口年額1万円とする。

(賛助会員の脱会等)

第4条 賛助会員が賛助会費を納付しない時は、脱会したものとみなす。

(賛助会費納付金の運用)

第5条 賛助会員から納付された賛助会費は、基金の運用財産収入又は基本財産収入として経理し、運用する。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則（平成28年7月29日規程第31号）

この規程は、平成28年7月29日から施行する。

附 則（令和4年4月1日畜大規程第1号）

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

帯広畜産大学基金運営委員会細則

平成22年1月21日細則第1号

制 定

改正 平成24年2月16日細則第12号 平成27年6月2日細則第7号

平成28年5月24日細則第4号 令和4年4月1日畜大細則第1号

(趣 旨)

第1条 この細則は、帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第6条第3項の規定に基づき、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(任務)

第2条 委員会は、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の管理及び運営に関する次に掲げる事項について審議を行う。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 基金の予算及び決算に関する事項
- (3) 寄附の受け入れ及びその運用に関する事項
- (4) 寄附者への謝意表明の基本方針に関する事項
- (5) その他基金の管理及び運営に関する重要事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長のうち、学長が指名する者
- (3) 帯広畜産大学の役員及び職員以外で大学に関し広くかつ高い識見を有するもののうちから、学長が指名する者 若干人
- (4) 帯広畜産大学同窓会役員の中から学長が指名する者 若干人
- (5) その他学長が必要と認めた者 若干人

(任期)

第4条 前条第3号から第5号までの委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員による委員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、委員の過半数が出席し、かつ、第3条第3号の委員のうち少なくとも1名が出席しなければ、会議を開くことができない。

- 2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、関係課等の協力を得て、企画総務課において処理する。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この細則は、平成22年1月21日から施行する。

2 この細則施行後、最初に任命される第3条第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則（平成24年2月16日細則第12号）

この細則は、平成24年2月16日から施行する。

附 則（平成27年6月2日細則第7号）

この細則は、平成27年6月2日から施行する。

附 則（平成28年5月24日細則第4号）

この細則は、平成28年5月24日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（令和4年4月1日畜大細則第1号）

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

発 行 令和6年7月
編集発行 国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学
企画総務課 基金・広報係
所 在 地 〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
電話番号 (0155) 49-5219
<https://www.obihiro.ac.jp/fund>
